

Yoshinaka Press

神奈川県議会議員 議会報告 2023. JULY Vol. 25

おざわ良央 よしなか

発行：おざわ良央事務所 〒250-0042 神奈川県小田原市荻窪 166
☎0465-35-0001 📠0465-35-4666 🌐ozawayoshinaka.com



まっすぐに誠実に。 3期目突破!!



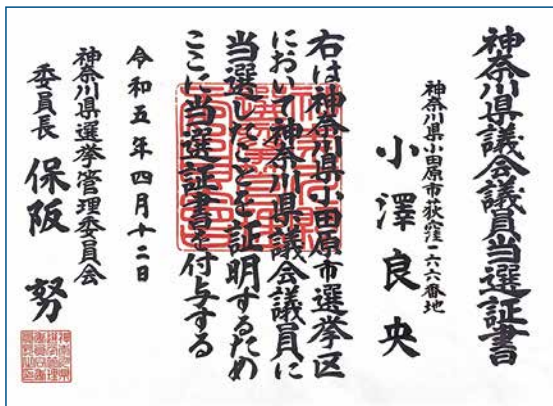
4月9日深夜、選挙事務所の息をのむような緊迫した雰囲気や“やったあー!万歳”と一挙に破裂。第3期目の県議選で、おざわ候補の当選が確定した瞬間でした。

今回の選挙戦は、長く続くコロナ禍の影響で、地域社会も、人間関係や一人一人の生活スタイルも、何もかも大きく変わってしまった中での、厳しい難しい戦いになりました。

後援会や丁寧に築き上げてきた沢山の皆さんとの関係も、着実に積み重ねることもできず、おざわ候補にとっては心残りの多い選挙でした。

しかしその中で、おざわ良央ファンの皆様の熱心な陰に陽にの大きなお力添えが、連続してのトップ当選に繋がりました。本当にありがとうございました。

おざわ県議の“新たなる挑戦”の始動です。「やさしくて強いまちづくり」に、まっすぐに誠実に活動するおざわ県議に、今後共、絶大なご支援をよろしくお願い申し上げます。



おざわ良央を囲む納涼の夕べ

令和5年 7月30日(日) 午後4時より

場所 お堀端コンベンションホール 会費 3,000円(お一人様)

当選後、初の交流会です。お誘い合わせてお出かけ下さい。
ご不明な点はおざわ事務所(☎0465-35-0001)へお問い合わせ下さい。

県議会 県議団 自民党県連

重責を担う!

県議会 「防災警察常任委員会」 委員長に就任

3期目当選後、県議会の新陣容が決まりました。8常任委員会の中の、「防災警察常任委員会 委員長」という大役を担うことになりました。2期目最終年は、「文教常任委員会 副委員長」そして「安全安心対策特別委員会 委員長」でしたが、「常任委員長」に就任すると、特別委員会は抜ける決まりです。

「防災警察常任委員会」は、危機管理の総合調整、安全・安心まちづくり、災害対策及び消防、消費生活、警察の管理運営、生活安全、地域、刑事、交通及び警備などの仕事について担当します。

県民の生命と暮らしを守る事は、政治家として最も大切な仕事です。おざわ県議の真っすぐで誠実な政治姿勢に大きな期待が寄せられています。

自民党 神奈川県議団 副団長

神奈川県議会で、自民党県議団は49名の最大多数会派ですが、おざわ県議は、団運営の執行部として、平成30年度に続き、2度目の副団長に就任。

多くの自民党県議の意見や行動を一つにまとめる厳しい仕事ですが、おざわ県議のねばり強い行動力と真摯な姿勢が成果を生むでしょう。

自民党 神奈川県連 副幹事長

自民党神奈川県支部連合会は、この4月から2年間にわたる新執行部を決定。おざわ県議は今回も下記の通り重職をいくつも兼任、県連でも、今後ますますの活躍が期待されています。

小泉進次郎会長、梅沢裕之幹事長のもと

- おざわ良央・副幹事長（県民運動 担当）
- 県民運動本部 副本部長
- 総裁選挙管理委員会 委員
- 企画調整会議 執行部委員
- かながわ自民党未来カレッジ 副校長



自民党

代表質問

令和5年 第2回 県議会定例会

3期目当選の間もない6月に、おざわ良央県議は、自民党の看板を背にして、2期目に続き、2度目の代表質問をすることになりました。党の代表としての質問は、国会議、党政務調査会等の議を経て、質問内容が決定されます。地元のきめ細やかな懸案事項には、なかなか触れられませんが、しかし神奈川県政全体にかかわる大きなテーマに、キチンと向き合うことができるよい機会です。以下概要をご紹介します。

安全で安心してらせる神奈川の実現を

1) 道路標示の補修促進について

道路標示の摩耗は、日頃の県民の安全・安心に直結する。AIなどのデジタル技術を活用、効率的に補修を行っていく必要があると考える。摩耗した道路標示の補修に係る取組状況と、今後、AIを活用するなど、どう補修を促進していくのか、見解を伺う。

2) 海岸の安全・安心な取組について

●現在、県内で“認定海水浴場”を取得している所は少数である。
●当面、現行のエリアマネージャーの巡回を続けるのは良いが、最終的には、県内すべての海水浴場の認定海水浴場を目指すべきと思うが。

3) 海水浴場対策及び山岳遭難防止対策への取組み

今後、コロナ禍により外出を控えていた方々が、県内の海、山などを訪れる。海水浴場対策及び山岳遭難防止対策への取組について見解を伺う。



県内企業を支援する取組について

1) 県内経済の回復に向けた中小企業への支援

回復に向かい動き出した県内経済を止めることなく、更に加速させるには、新たに直面している様々な課題にも対応していく必要がある。県内経済の回復に向けて、どのように中小企業を支援して行くのか、見解を伺う。

2) さがみロボット産業特区の取組による県内産業基盤の強化について（省略）

3) 県内中小企業の海外展開支援について

県は、コロナ禍の収束や、海外市場の動向等を踏まえ、県内中小企業のニーズにしっかりと対応して、海外への販路開拓を積極的に支援していくべきと考えるが。

県政の諸課題について

1) 水素社会実現に向けた取組について

脱炭素社会の実現に向けて、水素の普及を拡大するため、「神奈川県の水素社会実現ロードマップ」の見直しを行うべきだが。

2) 県立総合療育相談センターの今後のあり方

県では、「神奈川県総合療育相談センターあり方検討会」を設置し、センターが実施している事業課題を整理、今後のあり方を検討している。この検討会での検討内容と、今後の取組は。

3) 公立中学校における部活動の地域移行について

●県は、部活動の地域移行について、県方針の策定に向け動き出したが、市町村における地域移行に向けた検討が、より円滑に進められるよう方針を示す必要がある。
●今後どのように進めていくのか。



4) 県立の通信制高校の学びの充実について

●全国的に通信制高校を選択する生徒が増加している。
●生徒の学びに対するニーズが多様化する中、今後の県立の通信制高校における学びの充実について、どのように考えているか、見解を伺う。



熱闘を振り返って 2022.11-2023.4.9

万歳!